

災害復旧活動を円滑に支援するために！ 災害対策用機械の操作訓練【7月期】を実施しました

関東技術事務所では、地震や洪水等による被害軽減及び円滑に災害復旧活動を支援するため災害対策用機械を保有しており、これら機械を緊急時適切に運用・操作できるように職員による操作訓練を定期的に行っています。

7月はゲリラ豪雨や台風による出水に備え、江戸川河川敷において実際の災害現場に見立てて江戸川の河川水を用い、排水ポンプの設置・排水運転・撤去訓練を実施しました。

- ◆日時 : 平成26年7月17日(木)
- ◆場所 : 松戸市古ヶ崎地先河川敷 (江戸川左岸21.5km付近)
- ◆参加者 : 8名 (関東技術事務所職員)
- ◆講習機械 : ①【排水ポンプ車100m³/分】ポンプ4台(1台当り 24m³/分)
 ②【排水ポンプ車30m³/分】ポンプ4台(1台当り 7.5m³/分)



←排水ポンプ車100m³/分
 (24.0m³/分/ポンプ1台)

排水ポンプ車30m³/分
 ↓(7.5m³/分/ポンプ1台)



今回の訓練対象機器の概要と排水ポンプ設置の主な流れ

排水ポンプ車 30m³/分

軽量化された標準型ポンプ（7.5m³/分、全揚程10m）×4台で構成され、人力で設置が可能です。高揚程型（3.75m³/分、全揚程20m）のポンプ4台も積載しているので現場状況に合わせて選択が可能です。

雑学タイム ポンプ4台で、小学校の25mプール*を約12分で空にする能力です

①準備

この排水ポンプ車1台で必要機材の運搬～排水運転まで可能です



ポンプを準備



フロート(浮き)を取付



排水ホースをセット

②ポンプ投入
 ポンプを設置
 1分1秒を争う
 災害時にクレーン車がなくとも人力で設置できるのが最大の特徴です



江戸川にポンプを投入



ポンプ運転スイッチON



ポンプ運転⇒排水

排水ポンプ車 100m³/分

24m³/分ポンプ×4台で構成され大規模な出水現場で威力を発揮します。ポンプ重量が約600kgのため設置にはクレーン車等が必要となります。

雑学タイム ポンプ4台で、小学校の25mプール*を4分弱で空にする能力です

①準備

資機材を降ろす
 フロートを取付け
 必要な長さのホース、ケーブルを接続



ポンプ・ホース等を荷下し



ポンプにホースを取付



フロート(浮き)を膨らませセット

②ポンプ投入
 クレーンを用いてポンプを設置



延長ケーブルを接続



ポンプをクレーンで移動



江戸川にポンプ投入

③発電機を起動しポンプ運転、排水。



ポンプ運転⇒排水



ポンプをクレーンで撤去



ポンプ片付け

④撤去・片付け

*: プールはL25m×W12m×H1.2m=360m³で計算しています